

渡島大島

- 火山活動評価：静穏な状況
火山活動は静穏な状態です。

- 上空からの観測結果

11月18日に第一管区海上保安本部が上空から行った観測によると、噴気は確認されず、特に変化は認められませんでした。寛保岳（中央火口丘）主火口では、南東側内壁に存在している地熱域に対応し、雪が融けている様子が認められます。

その他、火口周辺の形状等にも特に変化はありませんでした。

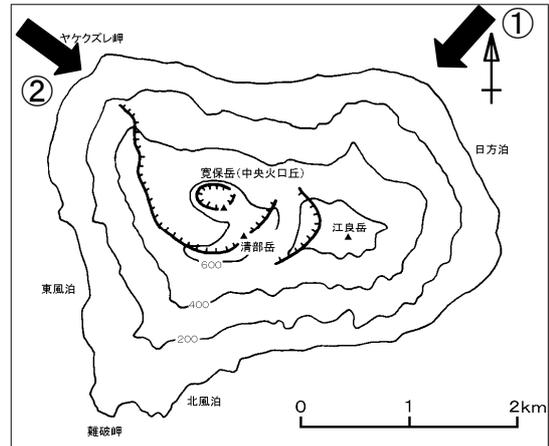


図 1 渡島大島 地形図

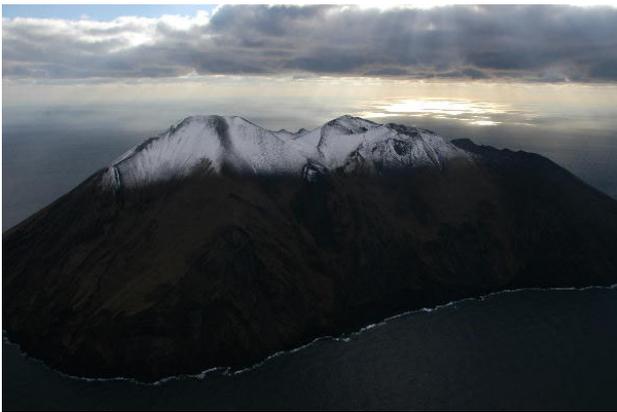


図 1 北東側上空から撮影した渡島大島
(地形図①から撮影)



図 2 北西側上空から撮影した
寛保岳（中央火口丘）主火口周辺
(地形図②から撮影)

写真はいずれも 第一管区海上保安本部提供（11月18日撮影）

参考：

渡島大島の山頂部には中央火口丘（寛保岳：標高 648m）があり、径約 200m×300m、深さ約 70m の火口があります。この火口内壁には 2 か所の地熱地帯が知られています。1991 年（平成 3 年）に札幌管区気象台が実施した機動観測では、火口南東部の地熱地帯で最高 77℃、北部の地熱地帯で最高 38℃（地中温度深さ 10cm）を観測しています。また、南東部の地熱地帯ではごく弱い噴気が認められています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています。（承認番号 平 17 総使、第 503 号）